

役員及び評議員の報酬等に関する規程

(目的)

第1条 この規程は、社会福祉法人京悠会の役員及び評議員の報酬等について定めるものである。

(定義)

第2条 この規程でいう役員とは、理事及び監事をいう。

(理事会及び評議員会の出席)

第3条 理事長及び理事が理事会に出席したときは、別表1により実費弁償費を支払うことができる。

2 評議員が評議員会に出席したときは、別表1により実費弁償費を支払うことができる。

3 交通費の実費が、実費弁償費の額を超える場合には、その実費とする。

(役員及び評議員の報酬)

第4条 理事長が理事会出席以外で法人及び施設の運営のために、その業務に当たった場合は、別表2により実費弁償費を支払うことができる。

2 理事が理事会出席以外で法人及び施設の運営のために、理事長の命を受けてその業務にあたった場合は、別表2により報酬及び実費弁償費を支払うことができる。

3 評議員が評議員会出席以外で法人及び施設の運営のために、理事長の命を受けてその業務にあたった場合は、別表2により報酬及び実費弁償費を支払うことができる。

4 交通費の実費が、実費弁償費の額を超える場合には、その実費とする。

(監事の報酬)

第5条 監事が理事会及び評議員会に出席したときは、別表1により実費弁償費を支払うことができる。

2 監事が法人及び施設の指導検査への立会い及び運営状況を指導または監査の業務に当たった場合は、別表2により実費弁償費を支払うことができる。

3 交通費の実費が、実費弁償費の額を超える場合には、その実費とする。

(出張旅費)

第6条 役員及び評議員が、法人業務のため出張する場合は、別表3により報酬及び旅費等を支給することができる。

2 旅費は実費を支給する。

3 業務遂行に必要な経費を、実費を原則として支給できる。

4 旅費は実情を考慮し、増額することができる。

5 旅費等は原則として、出張終了後支払うこととするが、必要により事前に概算額を支払い、出張終了後精算することができる。

(兼務役員)

第7条 施設の職員を兼務する役員は、施設の職員としての業務を除く法人職務に限り、この規程を適用することができる。

(理事長の退職金)

第8条 理事長（施設長を兼任した場合に限る）の退職金は、社会福祉法人京悠会が契約者となり理事長を被保険者とする生命保険（積立型）の解約返戻金の満額をもって支払

うものとする。

また、理事長の退職金は、生命保険の解約返戻金の満額をもって支払うものとする。

(改正)

第9条 本規程を改正する必要がある場合には、理事会の議決を経なければならない。

付 則

- 1 この規程は、平成19年4月1日より適用する。
- 2 この規程は、平成21年9月1日より適用する。
- 3 この規程は、平成24年4月1日より適用する。
- 4 この規程は、平成28年2月1日より適用する。
- 5 この規程は、令和7年4月1日より適用する。

別表1

| 名称 | 報酬 | 実費弁償額 |
|-----------|---------|--------|
| 理事会 出席報酬等 | 10,000円 | 3,000円 |
| 評議員会出席報酬等 | 10,000円 | 3,000円 |

別表2

| 名称 | 報酬 | 実費弁償額 |
|-------------|---------|--------|
| 理事長業務報酬等 | 10,000円 | 5,000円 |
| 理事、評議員業務報酬等 | 10,000円 | 5,000円 |
| 監事監査指導報酬等 | 10,000円 | 5,000円 |

別表3

| 旅費 | 宿泊費 | 1日の報酬費 | その他 |
|----|-----|---------|-----|
| 実費 | 実費 | 10,000円 | 実費 |